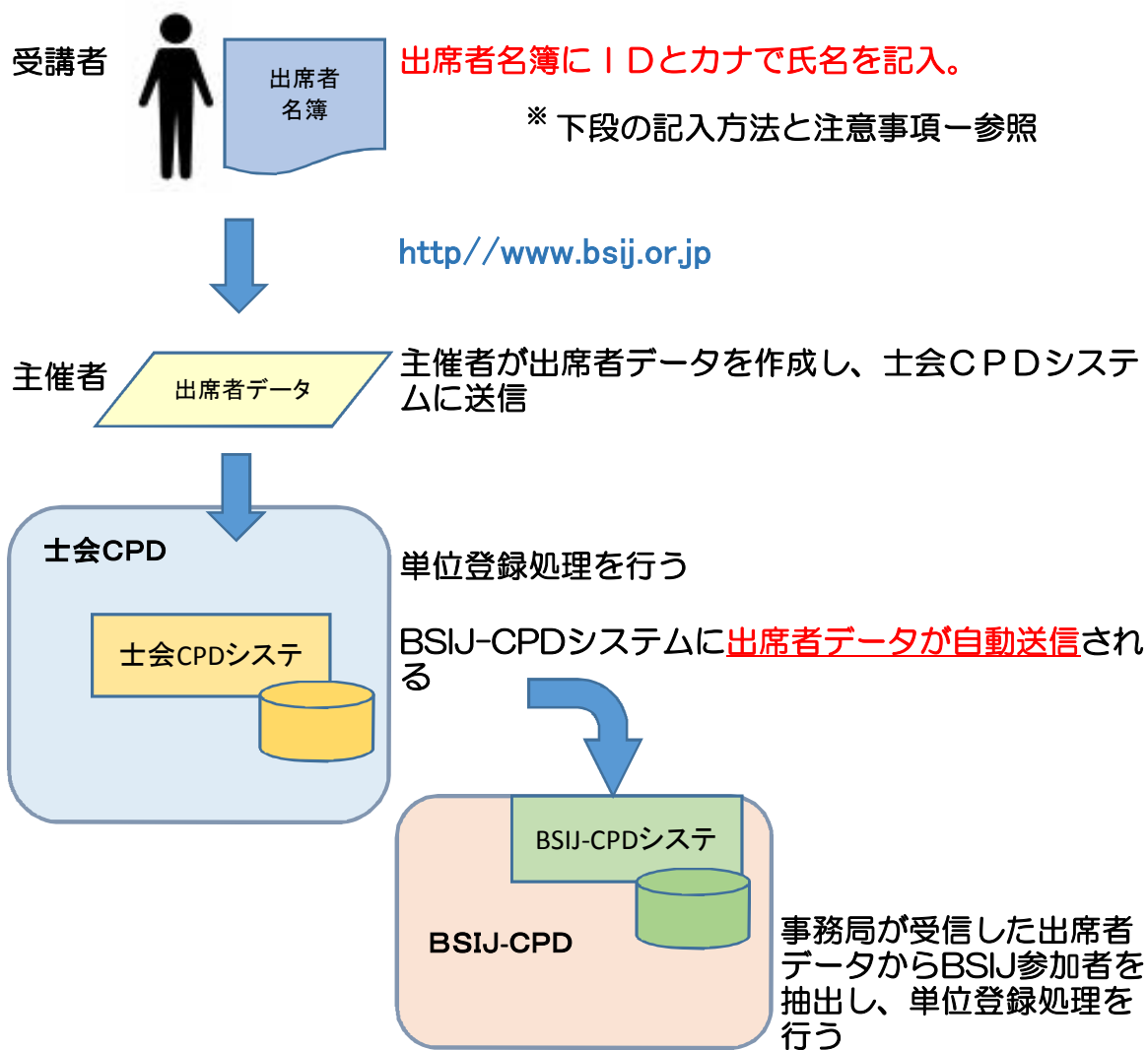


建築士会の講習会<共通認定プログラム>に参加してCPD単位を取得する

■ 「共通認定プログラム」

各都道府県建築士会では、建築士の知識、技術の向上に資するため、CPD認定プログラムとして、多くの講習会、セミナー、見学会などを開催しています。
 日本建築積算協会では、建築コスト管理士、建築積算士などの資格者の一層のレベルアップを図るため、士会の認定プログラムを「共通認定プログラム」として、両CPD制度で共通して単位取得を可能とするための覚書を締結しました。

■ 受講単位を取得するまでの流れ



CPD制度に関する覚書

社団法人日本建築士会連合会(以下「建築士会」という)と社団法人日本建築積算協会(以下「積算協会」という)は、CPD制度参加者の継続的能力開発のためより幅広い知識・技術修得の機会を提供し、人材育成をより効果的に行うことを目的として、CPD制度における認定プログラムに関し、以下の覚書を締結する。

1. 建築士会、積算協会それぞれで認定されたプログラムについては、双方共通の認定プログラム(以下「共通認定プログラム」という)とする。
 その詳細は、以下に規定された範囲において、協議により別に定める。
 (1)参加学習型
 ◇ 講習会・講演会等
 ◇ 見学会
 ◇ e-ラーニング
 (2)情報提供型
 ◇ 講師(上記、認定プログラムである講習会・講演会等の講師)
2. 共通認定プログラムについては、双方認定に関わる費用は発生しない。
3. 共通認定プログラムについては、建築士会または積算協会が認定したプロバイダー(建築士会および積算協会)によって、出席者名簿が作成される。
4. 建築士会認定プログラムについては、建築士会CPDシステムを通じて積算協会が確認できる。
5. 積算協会認定プログラムについては、BSIJ-CPDシステムを通じて建築士会にその内容を通知する。
6. この覚書に記載のない事項については、建築士会、積算協会それぞれの規定によるが、それによらない事項については別途協議する。
8. この覚書は平成24年4月1日から発効する。

平成24年3月26日

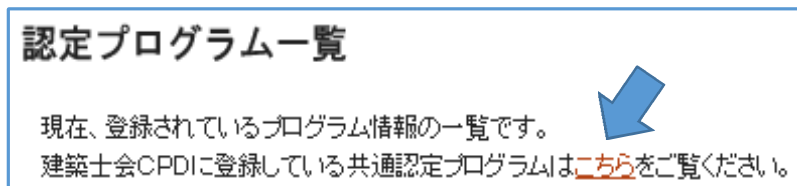
社団法人日本建築士会連合会 会長 藤本昌也
 社団法人日本建築積算協会 会長 藤上輝之

■ 共通認定プログラムとして認められるプログラム

下記形態のプログラムでプログラム申請先制度が「建築士会」になっているプログラムが対象です。

- プログラムの形態分類
- 定期講習
 - 法定講習
 - 講習会等
 - 見学会等
 - 士会特別認定研修

士会認定プログラム一覧表はBSIJ-CPDの認定プログラム一覧の画面[こちら](#)から閲覧できます。



士会 認定プログラム一覧のプログラム名の下に『士会』が表示がされています

個々のプログラム情報に【建築士会】が太字で表示されています。

申請先制度	[建築CPD・情報提供]	[建築設備士]	[JIA]	[建築士会]	[申請先士会・連合会]	[振興基金]
-------	--------------	---------	-------	---------------	-------------	--------

■記入方法と注意事項

※ 建築積算協会のCPD制度におけるID番号は当初80を使用していましたが、会員・建築積算士補・建築積算士がそれぞれ上位資格を取得した場合、システム上変更処理が煩雑になる為80からBSに変更致しました。建築士会での登録IDは、80シリーズにて承認された経緯があり、変更はできませんのでお手をかけますがご理解の程お願い致します。
士会認定プログラムを受講した時に所定の名簿欄に下記①の要領にて記載ください。

① 出席者名簿に下記によるIDとカナで氏名を記入してください。

★建築コスト管理士の場合：(80M0000) + 5桁のコスト管理士登録番号

例： ID：80M000000066
氏名：セキサン タロウ

★建築積算士の場合 (80E0000) + 5桁の積算士登録番号

★建築積算士補の場合 (80S0000) + 5桁の積算士補登録番号

★積算協会員の場合 (80F0000) + 5桁の会員登録番号

※ 複数の積算関連資格を保有している方はどれか一つを記入してください。

1				
2				上段:士会ID(建築士登録番号) 下段:BSIJ-CPD ID
3		888555	カナガワ	イチロウ
4		80M000003010	カナガワ	イチロウ
5				BSIJ-CPD制度のみ所属
6				
7		80M000001850	ケンチク	ハナコ
8				
9		二京都府55599	キョウト	ジロウ
10		80M0000075544	キョウト	ジロウ
11				
12				上段:士会ID(2級建築士) 下段:BSIJ-CPD ID

② 士会CPD制度とBSIJ-CPD制度はお互い独立した制度です。そのため出席者は所属している制度それぞれに出席情報を伝える必要があります。

右図のように両制度に所属している方は、会場で一つの名簿に氏名等を2段書きをしてください。

③ BSIJ-CPD制度への参加者の取得単位の反映は随時行いますが、士会CPD制度から名簿データを受信してからの作業になりますので、若干のタイムラグが発生する事をご了承ください。

【建築士会講習会に参加したが、BSIJ-CPDの取得単位の単位が反映されていない場合】

1. 共通認定プログラムとして認められている講習会ですか？

『■共通認定プログラムとして認められるプログラム』の確認を行ってください。

⇒共通認定プログラムでない場合は、自己申請してください。

⇒共通認定プログラムの場合は、BSIJ-CPD事務局にお問合せください。(3. 参照)

2. 出席者名簿に正しくID、氏名を記入しましたか？

『記入方法と注意事項』①のように記入しましたか。積算関係資格を記入しないと出席確認が出来ません。

『記入方法と注意事項』②のように、士会とBSIJの両制度に加入している場合は必ず両制度のID、氏名を記入してください。

⇒記入間違いがあった場合は、BSIJ-CPD事務局にお問合せください。(3. 参照)

3. 上記以外で、原因がよくわからない場合は、BSIJ-CPD事務局に下記を明記して、お問合せください。

あなたの積算関係資格の登録番号、氏名

受講した講習会等のプログラムID (士会認定プログラム一覧表で確認してください)

お問合せ内容

ただし、『受講単位を取得するまでの流れ』のどこかで処理が滞っている場合があります。

『記入方法と注意事項』③のようにBSIJ側で処理が終了していない事が考えられますので、タイムラグを考慮してお問合せください。